

サカキ

か めい
科名 ツバキ

べつ めい
別名

がく めい
学名 Cleyera japonica



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶん
分 布 ほんしゅう いばらきけん いしかわけんいせい しこく
本 州（茨城県・石川県以西）四国、
きゅうしゅう おきなわ ちゅうごく たいわん
九 州、沖縄、中国、台湾

は かたち
葉 の 形 ちょうだえんけい
長楕円形

は ぶち
葉 の 縁 ぜんえん
全縁

は さき
葉 の 先 えいけい
鋭形

は しゅるい たんよう
葉 の 種 類 単葉

は つきかた ごせい
葉 の 付 方 互生

は き ぶ せつけい
葉 の 基 部 切形

み しゅるい えきか
実 の 種 類 液果

は な がくいろ しろいろ
花 ・ 萼 色 白色

せつ
説
めい
明

山地の日陰でやや湿ったところに生育する常緑の低木です。小枝ははじめ緑白色で、しばしば赤みをおびることもあり、後に灰色を経て灰黒色になります。葉の表面は深緑色、裏面は淡灰緑色で鋸歯はありませんが、まれに見ることがあります。花は斜め下または下向きに白色のちに黄色をおびた花が咲きます。実は球形で径7-8 mm、黒紫色に熟します。